

千葉大学医学部附属病院で中・下咽頭癌で手術された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年5月20日
耳鼻咽喉科・頭頸部外科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、頭頸部腫瘍における遺伝子・蛋白動態解析に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2008年より実施されている頭頸部腫瘍における遺伝子・蛋白動態解析に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供を同意され、耳鼻咽喉科・頭頸部外科で中咽頭癌・下咽頭癌に対して手術治療を受けた方

1. 研究課題名

「頭頸部腫瘍における遺伝子・蛋白動態解析」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、生命倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

がんは遺伝子異常によって発生し、異常なタンパク質を作ってがん自身が成長できるようにがん周囲の体内環境に作用しています。このようにがんと遺伝子やタンパク質は密接な関係をもっていますので、千葉大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、がんなどの鼻、口、喉などにできる腫瘍（頭頸部腫瘍）の遺伝子・タンパク質に関する研究をしています。最近では、遺伝子・タンパク質を詳しく調べる技術が発展しており、組織のどこで特定の遺伝子やタンパク質がどのくらい現れているかという情報を細胞レベルで調べることができるようになりました（これを空間遺伝子解析といいます）。この研究方法によってがんとがん周囲の環境がどのように作用し合っているのかを明らかにできると考え

ています。しかし、このような研究方法は複雑で実施できる施設が限られてしまうため、下記に示します同大学の研究教室、他施設と連携し、4. にお示しする試料・情報を共有させていただきたいと考えています。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料・情報は千葉大学機能ゲノム学、分子腫瘍学、腫瘍病理学、免疫発生学、皮膚科学、イノベーション医学研究室、千葉県がんセンター研究所、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻鈴木研究室、東京医科歯科大学計算システム生物学に提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術時に採取された中咽頭・下咽頭組織検体

情報：診療録に記載されている病歴、画像データ、病理検査所見

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学	花澤豊行
共同研究機関名	研究責任者
金沢大学	吉崎智一
浜松医科大学	三澤清
千葉県がんセンター研究所	富樫庸介、河津正人
かずさ DNA 研究所	小原収
東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻鈴木研究室	鈴木穰
東京医科歯科大学計算システム生物学	島村徹平

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等

に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

耳鼻咽喉・頭頸部外科 医員 松山浩之

043(222)7171 内線5350